

農事組合法人下川西

[庄原市]



代表理事：谷川光行

設立：平成26年7月

経営面積：27.7ha（農地中間管理機構活用面積 27.6ha）

生産品目：水稲，飼料作物，WCS用稲

構成員：41人（理事6人，常時雇用2人）

人・農地プランの話し合いから 集落法人の設立へ

下川西地区は庄原市の中心部から東約6kmに位置し、西城川に沿って広がる標高265m～310mの中山間地域に位置する水田地帯です。昭和53～57年度に実施された県営ほ場整備を契機に設立した下川西水稲麦作栽培営農集団組合によって水稲と麦のブロックローテーションや地域の酪農家との連携による飼料作物栽培などを進めていました。

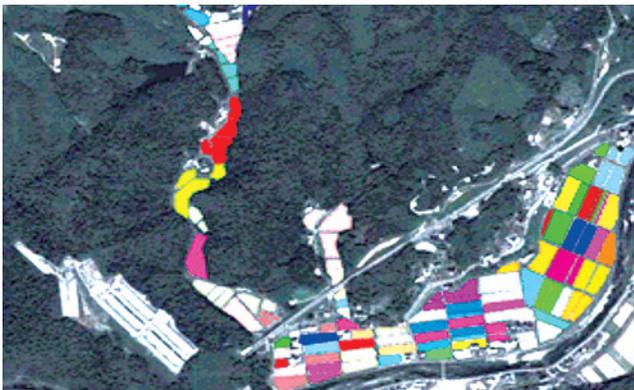
しかしながら、高齢化による担い手不足に加え、米価下落等を背景に生産コスト削減の必要に迫られる中、将来にわたり担い手が確保できる体制を構築するため、地域での話し合いを通じて人・農地プランを作成し、平成26年7月に（農）下川西を設立しました。

農地中間管理事業の活用で 効率的な農地利用を実現

集落法人設立前は、41戸の個人経営体が営農集団組合での機械共同利用に取り組み、地区全体の97%に相当する28.4haの農地で耕作をしていました。

（農）下川西の設立に際しては、農地中間管理事業を活用し、27.6haの農地を同法人に集積した事で、効率的な農地利用を進めることができました。

また、運営資金として機構集積協力金（地域集積協力金）を活用し、集落法人の円滑な経営開始につながりました。



法人化

